

レクチャー&ディスカッション  
**アメリカのデジタルジャーナリズム最前線**  
**The Cutting Edge of American Digital Journalism**  
入場無料・定員 50 名・英語講演(通訳つき)

**日時:** 2013年12月16日(月)(開場 午後2時30分)  
レクチャー&ディスカッション午後3時~4時45分

**会場:** [名古屋大学 文系総合館](#) 7階カンファレンスホール  
(名古屋市地下鉄名城線「名古屋大学」駅 1番出口より徒歩3分)

**講師:** ジェロミー・キャプラン氏  
ニューヨーク市立大学 ジャーナリズム大学院  
起業家ジャーナリズム・トゥーナイト・センター 教育担当ディレクター

**司会** 中村登志哉氏  
名古屋大学国際言語文化研究科教授・メディアプロフェッショナル論講座

**参加登録** 当日参加も可能ですが、資料準備の都合上[オンライン登録](#)をお願いします  
登録はこちらから → <http://goo.gl/BK9ike>

**主催** 名古屋アメリカンセンター(在名古屋米国領事館広報文化交流部)  
名古屋大学国際言語文化研究科メディアプロフェッショナル論講座

デジタル技術によりニュース制作、配信、消費する方法が大きく変化する中、メディア界は転換期を迎えています。オンラインでニュースが無料提供されソーシャルメディアによる市民参加型ジャーナリズムが普及した結果、アメリカでは多くの新聞社が破綻するなど既存業界が困難に直面しています。

その一方、新たなビジネスモデルを構築し人材育成を行うための動きも活発で、起業家ジャーナリズムに特化した大学院の創設はその一例です。そこではどのような内容の教育が行われているのでしょうか。また、無料コンテンツを提供しながら収益を生む新ビジネスとは？ハフィントン・ポスト、ニューヨークタイムスなどが成功している要因は？ワシントンポストの今後は？参加者の質問にこたえながら、アメリカのデジタル&起業ジャーナリズムの最新情報を紹介します。みなさまの参加をお待ちしています。



**講師略歴** [Jeremy Caplan](#), Director of Education, Tow-Knight Center for Entrepreneurial Journalism, City University of New York  
デジタルメディア、SNS、起業のジャーナリズムなど幅広いテーマを教えている。コロンビア・ビジネス・スクールにて研究員を務めた他、ニューズウィーク誌や The Paris Review 誌にてジャーナリストとしての経歴も持つ。コロンビア・ビジネス・スクールからジャーナリズム修士号を、プリンストン大学より国際関係学士号を取得している。

\* 客席を含む会場の映像が主催者ウェブなどに掲載されます。あらかじめ御了承ください \*

お問い合わせ

名古屋アメリカンセンター(在名古屋米国領事館広報文化交流部) [nacprogram@state.gov](mailto:nacprogram@state.gov)  
名古屋大学国際言語文化研究科・メディアプロフェッショナルコース事務室 [gen-mediajim@lang.nagoya-u.ac.jp](mailto:gen-mediajim@lang.nagoya-u.ac.jp)